

【農林水産物・食品の広報】

中華料理業界向け展示商談会(中国)

在中国大使館

開催日: 令和7年3月20日(木)

場 所: 在中国大使館公邸及び多目的ホール

主催(共催): 在中国大使館・北京フード会、後援: 一般財団法人 日中経済協会

協力/日本食品関係企業38社(日本食研、アサヒビール、井村屋等)

【概要】

- 本展示商談会は、日本食品の中華料理業界への販路開拓を目的に開催され、上海や青島等からの参加を含む日系食品関連企業38社が出展した。来場した中国の食品業者やレストラン関係者、中華料理関係団体関係者430名に対し、中華料理に合う新たな食べ方や飲み方の提案が行われた。
- 併せて、唐揚げ粉や海苔、ヤクルト等、出展企業の商品を使用した創作中華料理コンテストを開催し、ホテルやレストラン、料理学校等から応募のあった14名の中華料理シェフが腕を競い合った。審査員は、中国割烹協会の齊金柱監事長と、北京日本調理師会の深谷浩康会長が務めた。コンテストでは、濃厚チキンスープやかぼちゃペースト等を使った酸湯三色魚麵を考案した職業訓練学校の教員が優勝し、「料理のレベルを高めるため、中華料理と日本産食材は互いに学び合うことが大切。今後も交流が続くことを願う。」と喜びのスピーチを行った。
- 当日の展示会の様子は、人民網、経済日報、中国新聞等、多くのメディアに取り上げられた(報道例は下部右参照)。「日系食品企業の商品と中華料理が新たな化学反応を起こす」や「舌の上の中日ミックスー日本食品企業が中華料理との融合に新たな道を探る」等、本展示会に対する好意的な報道が多数見られた。



出展社ブースの様子



コンテスト出場者の調理の様子



会場の様子